

Assembly Manual Superstar Classic

組み立て説明書

Manual de ensamblaje de Superstar Classic



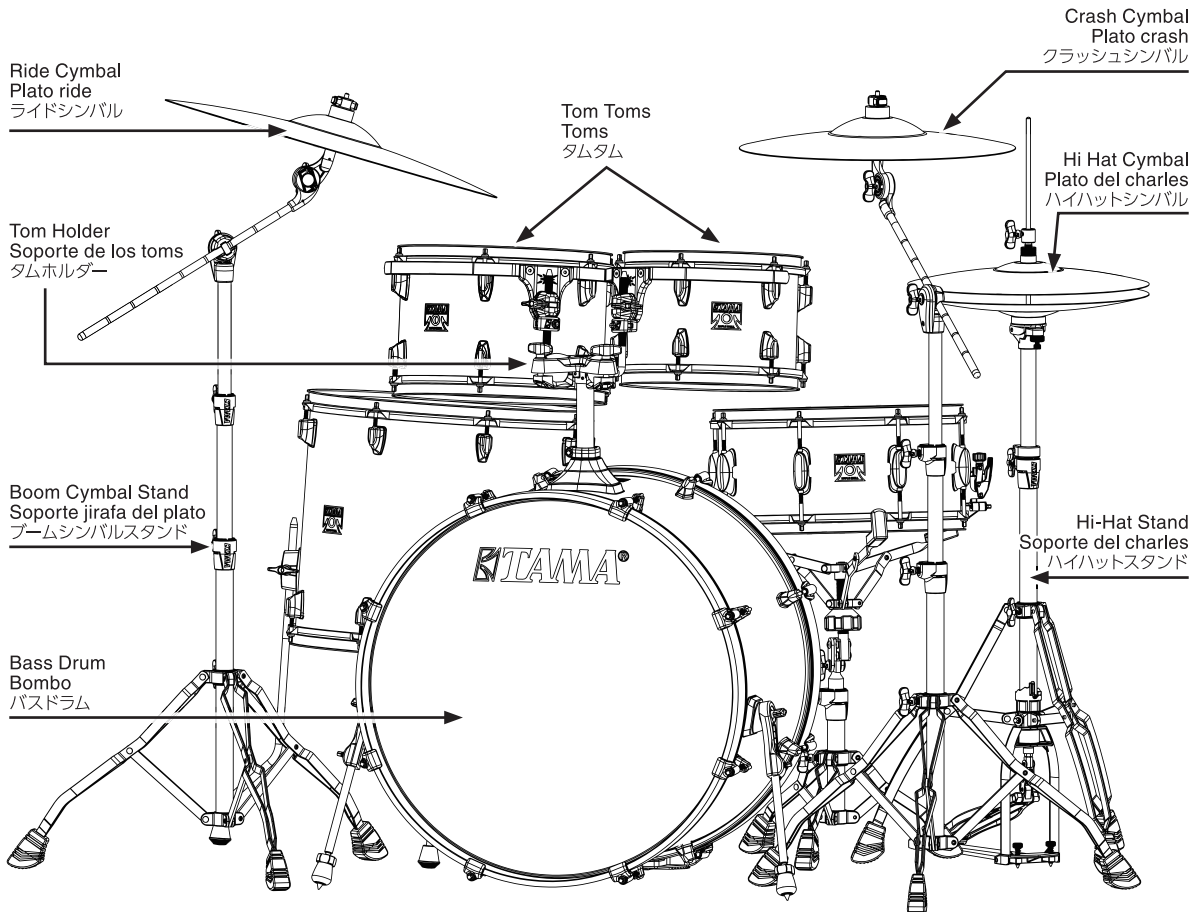
For more information about this drum set up, please check the instructional video from the link below or via the QR code.
<http://www.tama.com/instructionvideo>

ENGLISH

1. Assembling the Bass Drum	5
2. Setting Up the Tom Toms and Tom Holder	6
3. Assembling and Setting Up the Floor Tom	8

日本語

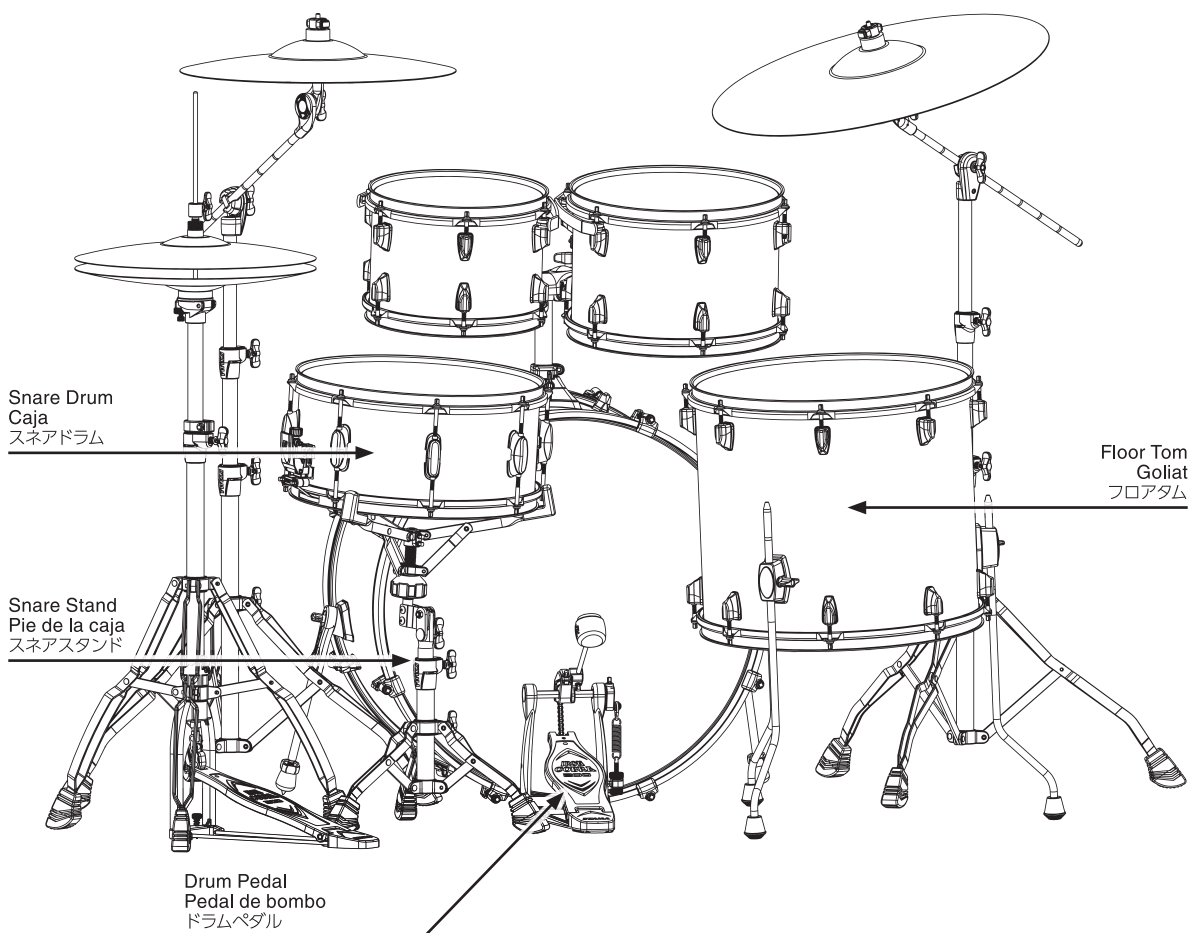
1. バスドラムの組み立て	10
2. タムタムのセッティング	11
3. フロアタムの組み立てとセッティング	13



※ セット内容には、シンバルとハードウェアが付属しないモデルもございます。
 Depending on the set contents, some models do not come with Cymbals and Hardware
 Dependiendo del contenido del juego, algunos modelos no vienen con platos ni hardware.

ESPAÑOL

1. Ensamblaje del bombo	15
2. Instalación de los toms y el soporte de los toms	16
3. Ensamblaje e instalación del goliat	18



この度はTAMA Superstar Classicをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
 組み立てる前にこの説明書をよく読んで、正しくお使いください。
 お読みになった後も大切に保管して、必要に応じてご覧ください。

内容	個数
シェル本体	1
ヘッド	2
バスドラムフープ	2
クローフック	16
テンションボルト (94mm)	16
脚棒	2

内容	個数
シェル本体	1
ヘッド	2
フープ	2
テンションボルト (48mm)	16
脚棒	3

内容	個数
タムタム (大)	1
タムタム (小)	1
スネアドラム	1
タムホルダー	1
チューニングキー・マニュアル	1

1. バスドラムの組み立て

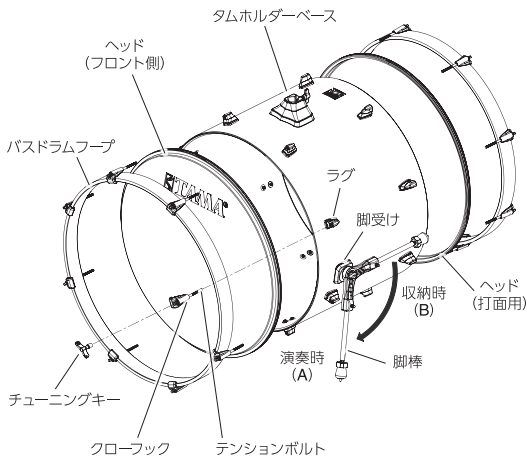


図1-1A

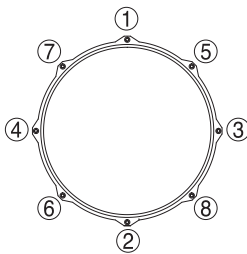


図1-1B

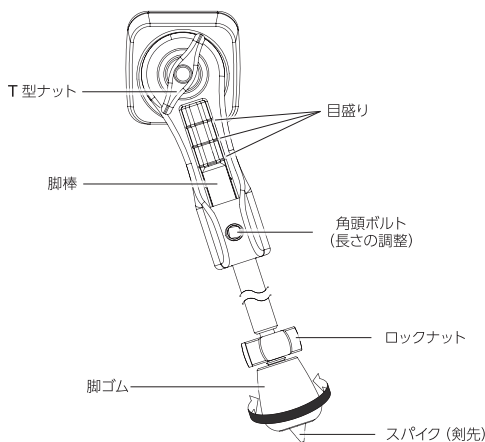


図1-2A

1-1ヘッド、フープの取り付け

パーツボックスに、テンションボルトとフックが同梱されています。図1-1Aのようにテンションボルトを通したクローフックをフープに掛けて組み立ててください。

注意

- * ヘッドを張る際には、一箇所だけを強く締めないでください。最初はチューニングキーを使わず、指で締められる程度に各ボルトを締め、その後チューニングキーを使って図1-1Bのように対角線の順に少しずつ均等に締めるとうまくなります。
- * 必要に応じてフロント側のヘッドに穴をあけてください。アタックの効いた抜けの良い音が得られます。また空気の逃げ道が出来ることでビーターの跳ね返りが抑えられる効果もあります。一般的には、中心から離れたところに13~15センチ(5~6インチ)径程度の穴があげられます。
- * さらに、バスドラムの内部に毛布や布を入れてミュートすると、バスドラムらしい、サスティーンが短く、太く締まったサウンドになります。

1-2. 脚受けのセッティング

● 角度と長さの調整

パーツボックスに、バスドラムの脚棒が同梱されています。脚棒を脚受けに取り付け、バスドラムをセットします。図1-2Aのように角頭ボルトを緩めると脚棒の長さが、またT型ナットを緩めると脚棒の角度が変えられます。固定された状態から約一回転半T型ナットを緩めると自由に回転しますが、内部のツメによってA,Bの位置が決まりますので、図1-1Aのように演奏時はA、収納時はBの位置にあわせて固定してください。

脚受けには目盛りが付いているので、長さを調整する際、参考にしてください。脚棒の長さは左右均等になるように注意し、バスドラムのフロント側フープの底面と、床の間に手のひらが入る程度にすると抜けの良い音が得られます。

● スパイクの調整

図1-2Aのように、脚ゴムと剣先が選択できます。床の状態にあわせて調整してください。ロックナットを締めると脚ゴムの位置を固定できます。

カーペット等を敷いた場所では剣先を出した方が、硬い床の場合は剣先を出さず脚ゴムを使った方が演奏中の滑りを防ぐ事ができます。

注意

※ドラムセッティングカーペットやマットを使用した場合でも、バスドラムのスパイク(剣先)を出してセッティング、演奏をするとマットの下の床面を傷つけます。床を傷つけてはいけな場所演奏するときは、バスドラムの脚ゴムから剣先が出ないように注意してください。

2. タムタムのセッティング

2-1. マウントシステム

タムタムには、シェル鳴りを最大限に引き出すために、シェルに直接ブラケットを取り付けず、アームを介してタムブラケットを固定するマウントシステムを採用しています。

● Star-mount System

Star-mountシステムは、テンションボルトで固定されています。打面ヘッドを交換するには以下の点に注意しながら正しく取り外しを行ってください

- * テンションボルトを緩め、古いヘッドを外します。テンションボルトを外している最中にアームユニットが脱落し、シェルに傷をつける恐れがありますので、アームのブラケット部を片手で軽く支えながら行ってください。
- * Star-mountのラバーリングをタムタムのラグナットに重ねます。
- * 新しいヘッドをタムタムに乗せ、図2-1Aのようにテンションボルトがフープからラバーリングを貫通してラグナットに入るように通します。
- * テンションボルトを順に締めて、チューニングします。

Star-mountシステムは、タムタムのセット位置に応じてタムブラケットのT型ナットの向きを選ぶ事が出来ます。図2-1BのようにT型ナットが外向きになるようにセットしてください。

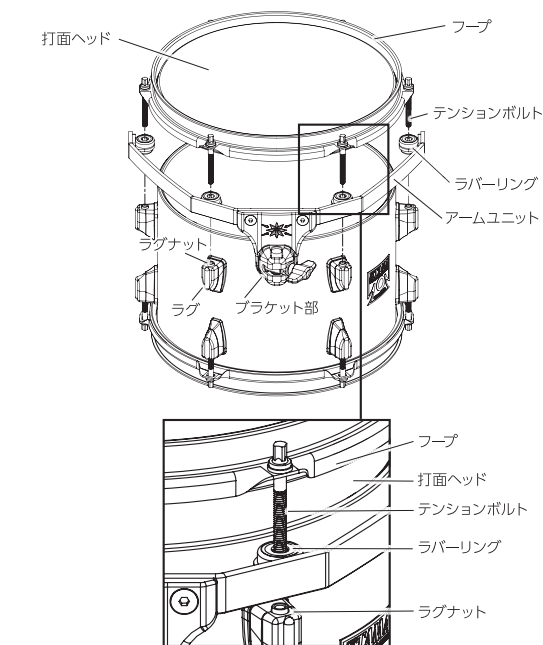


図2-1A

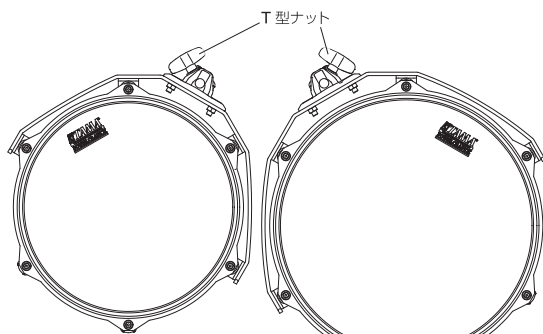


図2-1B

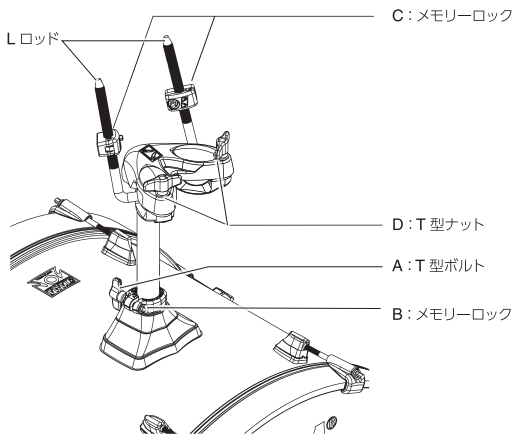


図2-2A

2-2. タムホルダー

- * タムホルダーベースのT型ボルトAを緩め、タムホルダーをバスドラムに取り付けます。この時、メモリーロックB、Cの角頭ボルトを緩めておきます。
- * Lロッドにタムタムを取り付け、T型ナットDを緩めて好みの角度に調整し、固定します。
- * タムタムの高さ、位置が決まったらメモリーロックB、Cの角頭ボルトを締め付けます。

注意

- * タムタムの角度を調整する際には、必ず片手でタムタムをしっかり支えながら、もう一方の手でTナットを緩めて調整してください。しっかりと片手で支えないと、急にタムタムが傾き指を挟む事故や、バスドラムの天面に傷をつける恐れがあります。

- * 長期間の使用などの要因により、Tナットをしっかり締めてもタムの角度が変わってしまう(ボールロッドの固定力が低下したと感じられた)際には、市販のグリスを使用することで固定力が回復することがあります。ロッドからタムを取り外し、Tナットを緩めてからボルト部分に少量のグリスアップを行ってください。

3. フロアタムの組み立てとセッティング

3-1. フロアタムの組み立て

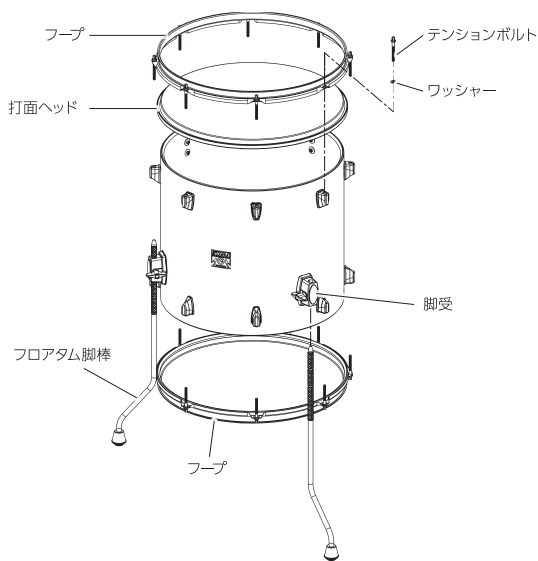


図3-1

まず、フロアタムのシェルにテンションボルトで固定されているフープ2本を取り外します。チューニングキーを使って、テンションボルトを外してください。この際、取り外したテンションボルトは、ヘッドを張る際に必要となりますので、紛失しないように保管してください。次に、バスドラムと同様にヘッド、フープの順にシェルにのせてヘッドを張ります（図3-1）。打面と裏面用の付属ヘッドは厚みが異なりますので、組み付け済みのタムタムのヘッドに印刷されたマークを見て確認してください。フロアタム用のテンションボルトは、パーツボックスに同梱されています。

3-2. フロアタムのセッティング

- * 三本の脚棒を脚受けに取り付けます。安定性を良くするために脚棒の曲がった部分は円周に対して直角に出るように気をつけてください。
- * 位置決めをする際には一本の脚が自分の右足(左利きの場合は左足)の脇にくるように置き、その脚の長さで傾き具合を調整します。高さはスネアドラムと同じか、やや低めにして少し内側に傾けるのが一般的です。

長年使用されたパーツが破損しましたら交換する事が可能です。

TAMAの公式ホームページ(<https://www.tama.com/jp/>)にて、パーツカタログをご用意しております。

この組み立て説明書は2022年4月現在のものです。製品改良の為、予告なく仕様を変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。

TSCLCK22D

 **TAMA**®